

# 第25回宇部・小野田圏域緩和ケア 事例検討会



切れ目のない緩和ケアを実施するために、多職種による事例検討を実施し、顔の見える関係づくりをめざしています。

高齢がん患者は暦年齢だけでは推し量れない多様な個性をもち、治療の方向性や療養の場に関する意思決定において認知機能低下や老いに伴う多くの課題があります。認知機能の低下により意思決定が困難であっても、病状や状況を説明し可能な限り理解を得るよう努めることはその人らしい生き方を支えることにつながります。

今回は高齢者特有の課題をふまえ、高齢がん患者の意思決定支援の課題とケア、療養環境の調整について考えていきたいと思えます。

**日 時：令和3年7月19日(月)**

**17：30～18：30（17：00受付開始）**

**場 所：山口大学医学部附属病院 オーディトリウム**

**参加費：無料（申し込み不要） 対象：院内医療関係者**

## テーマ

**「在宅・病院・介護施設でつなぐACP～泌尿器がんの高齢独居患者が治療継続しながら地域での暮らしを実現できた事例～」**

**（各演者10分程度、テーマに沿った討議20分）**

**山口大学医学部附属病院 泌尿器科 助教 平田 寛先生**

**B棟7階東病棟 看護師 佐藤 真理子 先生**



お問い合わせ先：山口大学医学部附属病院  
緩和ケアセンター事務局（担当 三上）  
Tel：0836-85-3070 FAX：0836-85-3071  
E-mail：[y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp)